

# 2019年度事業計画実施報告

2019年3月1日から  
2020年2月29日まで

公益財団法人日本野球連盟



## 2019年度事業報告

### 1. 総括

2019年度は、第90回都市対抗野球大会・JABA創立70周年を迎え、各種記念事業に取り組んだ。

7月6日には、記念事業の一環として記念式典を開催、各方面から多数の方々にご来場いただき、新しい社会人野球賛歌「我街の誇り」(作詞：伊集院静、作曲：林哲司)を披露し、また、社会人野球平成のベストナインを選出、受賞者を表彰した。他の記念事業としては、JABA70周年記念史の制作並びに過去に制作した連盟報、周年史等のデジタル化を行い、新しい時代へ向けた足掛かりとした。

さて、大会事業においては、第90回都市対抗野球大会は「千葉市・JFE東日本」、第45回社会人野球日本選手権大会は「大阪ガス(近畿・大阪)」がそれぞれ初優勝を飾った。都市対抗野球大会では、有料入場者数が60万人を超え、歴代3番目に多い有料入場者数を数えた。一方、第44回全日本クラブ野球選手権大会では、「マツゲン箕島硬式野球部(和歌山)」が2年ぶり5回目の優勝を飾り通算優勝回数では最多10回の全足利クラブに次ぐ歴代2位となった。

競技力向上事業関連は、全日本野球協会(BFJ)が行う選手強化事業との連携により各種施策を実施した。第29回BFAアジア野球選手権ではプロ選手主体の台湾に対し、予選リーグでは完勝したものの決勝戦で敗れ、2位となった。また、若手選手の育成を目的として臨んだアジアウインターベースボールリーグでは、3回目の参加で初めて優勝した。2022年に予定されているアジア競技大会へ向けた強化の礎となった。

普及振興事業関連は、指導者や審判員の育成、少年野球教室及びティーボール教室などの事業を継続して実施した。特にティーボール教室に関しては、東京ドームと京セラドーム大阪において開催、幼稚園児や保護者など両会場を併せて約1,800人が参加した。記念事業の一環として取り組んでいる全国一斉ティーボール教室には、本年度も多くのチームの協力を得て、前年実績を上回る全国231ヶ所の幼稚園等で開催した。

また、加盟団体である少年野球や女子野球各団体の活動をサポートした。

また、2019年度は、事務局の組織改編を実施した。広報課を新設し、広報活動事業の強化に努めた。新たな事業としてYoutubeから独自制作の番組を配信し、併せてSNS(Facebookやtwitter等)を通じた情報量拡大に取り組んだ。また、都市対抗野球大会の収益向上を図るべく、都市対抗野球大会収益向上プロジェクト委員会を6回に亘り開催した。

2020年度は、JABAクラブ(一般賛助)会員向けに発行しているJABAニュースや公式ホームページのリニューアルを進めており、更なる広報活動及び収益事業等の充実化を図る。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会人野球日本選手権大会や全日本クラブ選手権大会をはじめとする各種大会の一部を中止した。また、各チームには、4月から当面のオープン戦自粛を要請するなどの措置をとった。一日も早い収束を心から願う。

### 2. 本年度の事業内容

#### (1) 公益目的事業Ⅰ 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営

ア. 第90回都市対抗野球大会・・・(別紙1-2「1頁」)

期 日 7月13日(土)～7月25日(木)

球 場 東京ドーム

参加チーム 32チーム

※「千葉市・JFE東日本」(3年ぶり23回目の出場)が初優勝を飾り、黒獅子旗を獲得した。  
※全国各地で行われる予選に対し、それぞれ当該地域の地区連盟を通じて、一部運営経費を負担した。

※大会期間中の運営や観客の移動等に伴い排出温室効果ガスを企業等の協力によりJクレジット等にてカーボンオフセットすることにより温暖化対策に取り組んだ。

※オリンピック・パラリンピック等経済界協議会による「競技場の美化運動」に協力した。

※「第90回都市対抗野球大会・JABA創立70周年」記念事業として以下の事業を実施した。

- ①記念祝賀会の開催
- ②社会人野球平成のベストナインの選出と表彰
- ③社会人野球の歌の制定
- ④日本野球連盟70年記念史の制作
- ⑤インターネットライブ中継の促進
- ⑥出場チーム数の引き上げ（36チーム）
- ⑦都市対抗野球大会記念映像の制作
- ⑧デジタルミュージアムの設置・運用開始
- ⑨記念タブロイド誌の配付

イ. 第45回社会人野球日本選手権大会・・・(別紙1-2「2頁」)

期 日 10月25日(金)～11月4日(月)

会 場 京セラドーム大阪

参加チーム 32チーム

※近畿地区代表の「大阪ガス」(7大会連続23回目出場)が初優勝を飾り、ダイヤモンド旗を獲得した。

※社会人野球日本選手権大会の対象として代表権を与えた以下の大会に対し、予選費として使用球と審判にかかる経費を支給した。

北海道、東北、長野県知事旗、日立市長杯、東京スポニチ、静岡、ペーブルース杯、京都、岡山、四国、九州

ウ. 第44回全日本クラブ野球選手権大会・・・(別紙1-2「3頁」)

期 日 8月26日(月)～29日(木)

球 場 メットライフドーム

参加チーム 16チーム

※近畿地区代表の「マツゲン箕島硬式野球部」(3年連続9回目出場)が2年ぶり5回目の優勝を飾り、社会人野球日本選手権大会の出場権を獲得した。

エ. 各地区クラブ大会

以下の通り「各地区クラブ選手権大会」として8大会(中国地区と四国地区は合同開催)を実施した。

主 催：日本野球連盟、日本野球連盟各開催地地区連盟、毎日新聞社

後 援：スポーツニッポン新聞社

協 賛：ミズノ株式会社

※各大会の運営は開催地地区連盟に委託。大会運営費は各地区連盟に支給した。

#### 2019年度の開催状況

大会名	期 間	球 場	チ-ム数	試合方法	優勝チ-ム	準優勝チ-ム
北海道地区 クラブ選手権	8/24・25・31・9/1	岩見沢市民・ 栗山町民	12	トナリ	TRANSYS	ウイ北広島
東北 クラブカップ	9/7～2日間	八乙女・ 神岡	8	トナリ	ホム江刺	能代松陵クラブ
北信越 クラブカップ	10/5～2日間	富山76'S	7	トナリ	富山BC	ウツリノBC
関東連盟 クラブ選手権	9/28～2日間	岩槻川通・ 日通G	8	トナリ	YBC 柏	全足利クラブ
東海地区 クラブ野球 選手権	9/21～2日間	岡崎市民	8	トナリ	矢場とんクラブ・スターズ	岐阜硬式野球 倶楽部

近畿クラブ 会長杯	9/21～3日間	甲賀市民S・ 今津S	8	トーナメント	兵庫県警察硬式 野球部県警桃太郎	三菱自動車京都 クラブフェニックス
中・四国クラブ 野球選手権	9/7・23・28 10/20	ひうち・山口きら ら D・美咲町エイソ ン・ツネ子S	13	トーナメント	航空自衛隊防府 クラブ	ショウワコーポレーション
九州クラブ 野球選手権	10/5～2日間	みどりの森県営	8	トーナメント	宮崎福祉医療 ホール	ビック開発BC

オ. 2019年度各JABA公式大会結果（主要大会のみ）・・・（別紙1-2「4頁」）

カ. 各種プログラム管理（プログラム維持・JABA登録事務手続システム）「選手登録・大会出場管理システム」により全国各地で行われる大会への出場手続や選手の登録管理を行った。管理にかかる費用については、法人会計と按分し、それぞれ計上した。

キ. 広報活動

日本野球連盟報（年刊会報誌）、JABAニュース（月刊会報誌）を通じて大会事業の広報活動を行った。編集発行費用は、公益事業Ⅲ（スポーツ情報提供事業）と按分し、それぞれ計上した。

大会事業の広報活動の一環として、社会人野球情報誌「グランドスラム」の制作に協力、また、インターネット公式ホームページからも情報を発信した。大会事業の広報活動にかかる費用については、公益事業Ⅱ（普及振興事業）と按分し、それぞれ計上した。

本年度より新たな広報活動事業として、独自の番組「JABAステーション」を制作し、YouTubeから配信した。また、小学館グランドスラム編集部による「週刊グランドスラム」やJABA公式サポーター（3名）による取材活動により社会人野球に関する記事や動画など情報量の拡大を図り、併せて、JABA公式SNS（facebook, twitterなど）からも配信した。

また、JABAニュースの内容の充実化とホームページのリニューアルへ向けたアンケート調査を実施、ご協力いただいたJABAクラブ会員に対し、カレンダーを配付した。

ク. 表彰事業（年間表彰式）

①表彰選考

表彰選考委員会を開催し、主要大会の成績を基に協議した結果、以下のとおり表彰者が決定した。・・・（別紙1-2「5頁」）

位 置	氏 名	年令	所 属	回数
投 手	須 田 幸 太	33	J F E 東 日 本	初
捕 手	片 暮 翔 太	33	日 本 製 鉄 鹿 島	初
一塁手	沓 掛 祥 和	24	ト ヨ タ 自 動 車	初
二塁手	峯 本 匠	23	J F E 東 日 本	初
三塁手	原 田 拓 実	28	日 本 生 命	2
遊撃手	諸見里 匠	24	日 本 通 運	初
外野手	今 川 優 馬	22	J F E 東 日 本	初
	古 川 昂 樹	26	大 阪 ガ ス	初
	茶 谷 良 太	25	鷺 宮 製 作 所	初
指名打者	内 藤 大 樹	29	J F E 東 日 本	初

(個人賞)

表彰	氏名	年齢	所属	回数
首位打者賞	廣本拓也	31	日本生命	初
最多打点賞	沓掛祥和	24	トヨタ自動車	初
最多本塁打賞	沓掛祥和	24	トヨタ自動車	初
最多勝利投手賞	須田幸太	33	JFE東日本	初
最優秀防御率賞	岡野祐一郎	25	東芝	初

②表彰式

期日：12月11日

場所：KKRホテル東京（千代田区）

※関係者等約100名が出席して表彰式を行った。

ケ. 指導者育成事業

第44回JABA指導者研修会・・・(別紙1-2「6頁」)

大会事業のレベルアップを図るため、1月11日、TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター会議室<千代田区>において指導者に対する研修会を実施した。加盟チーム監督、コーチ等86チーム117名が参加した。

なお、本研修会は野球競技の普及に関する事業として実施し、開催費用については、普及振興目的に対する費用と按分し、それぞれ計上した。

コ. 審判員育成事業

①第62回全国審判講習会・・・(別紙1-2「7～8頁」)

2月8日から3日間、レクザムポールパーク丸亀<丸亀市>に於いて、審判講習会を開催した。各都道府県ならびに傘下団体の審判員57名が参加した。なお、本研修会は野球競技の普及振興に関する事業として実施し、開催費用については、普及振興目的に対する費用と按分し、それぞれ計上した。

②各地区・都道府県審判員育成事業に対する支援

各地区連盟又は加盟団体が実施する審判員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。

15件の申請の申請があり、それぞれ委員を派遣した。

サ. 公式記録員育成事業

公式記録員実地研修の実施

7月13日から13日間、東京ドームで開催された第90回都市対抗野球大会において、記録員講習の実施研修として各地区連盟から9名が参加し、公式記録を担当した。なお、指導は公式記録部会委員が行った。

シ. 場内アナウンス研修事業

各地区場内アナウンス担当者実地研修の実施（実地研修につき大会運営費に計上）

7月13日から13日間、東京ドームで開催された第90回都市対抗野球大会において、場内アナウンスの実施研修として1名が参加した。

なお、指導はJABA推薦の講師が行った。

ス. コンディショニングスタッフ研修事業

実施せず。

セ. 競技力向上事業

① 2019年度全日本ジュニア強化合宿

当初事業計画になかったアジアウインターベースボールリーグへの派遣（海外研修及び派遣事業）を決定したことにより、全日本ジュニア強化合宿は中止とし、予算計上していた350万円は、アジアウインターベースボールリーグ派遣費に充当することとした。（10月27日：第3回臨時理事会議決）

② 優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、選手に関する情報収集活動を行った。

③ 各地区連盟等が主催で実施する競技力向上を目的とする研修会に対し、運営費の一部支援、また、競技力向上委員やサポートスタッフの派遣を行った。

【クラブチーム技術研修会】

東北地区 7月 7日 参加者30名（講師：静、石井、サポートスタッフ 木村）

北海道地区 8月 4日 参加者30名（講師：加藤）

※企業新人研修会と同時開催

中国地区 10月12日・13日 参加者39名（講師：中野、若林、片山）

※企業新人研修会と同時開催

北信越地区 10月12日・13日 参加者29名（講師：横井、坂口、杉浦）

※企業新人研修会と同時開催

関東地区(神奈川) 10月 5日 参加者52名（講師：石井、片山、サポートスタッフ 木村、伊藤）

【企業新人研修会】

東海地区 8月14日・15日 参加者20名（講師：棚橋）

北海道地区 8月 4日 参加者30名（講師：加藤）

※クラブチーム技術研修会と同時開催

東北地区 9月28日・29日 参加者30名（講師：静、片山、サポートスタッフ 伊藤）

中国地区 10月12日・13日 参加者39名（講師：中野、若林、片山）

※クラブチーム技術研修会と同時開催

北信越地区 10月12日・13日 参加者29名（講師：横井、坂口、杉浦）

※クラブチーム技術研修会と同時開催

④ 全日本野球協会（BFJ）選手強化委員会事業に対する協力

BFJが実施する強化事業については、JABA加盟チーム選手や指導者が多数参加することから、BFJに対する事業費負担金（500万円）を拠出した。BFJによる競技力向上目的の事業は以下のとおり。

・社会人代表選手強化合宿

第1回：6月24日～27日 NITTSU ボールパーク浦和

第2回：8月24日～27日 東京ガス大森グラウンド・西武第二球場

第3回：9月18日～21日 JX・ENEOS等々カグラウンド・NTT東日本グラウンド

・大会名：吉田チャレンジフランス遠征試合（フランス）・・・（別紙1-2「9頁」）

開催国：パリ/フランス

期間：8月27日～9月3日

成績：フランスナショナルチームと5試合を行った。日本チームの成績は4勝1敗。

・大会名：第29回BFAアジア野球選手権大会・・・（別紙1-2「10頁」）

開催国・地域：台中/台湾

期間：10月14日～20日

場所：台湾・台中

成績：①チャイニーズ・タイペイ ②日本 ③中国 ④韓国 ⑤フィリピン ⑥台湾

⑦スリランカ ⑧パキスタン

- ・大会名：アジア・ウインター・ベースボール2019 (AWB)  
BFJ 選手強化事業と JABA 海外研修及び派遣事業として実施した。詳細は、後項ソ、海外研修及び派遣事業に記載のとおり。
- ・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。  
日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ  
各大会運営スタッフ（審判員、記録員等）

#### ソ. 海外研修及び派遣事業

大会名：アジア・ウインター・ベースボール2019 (AWB)・・・(別紙1-2「11頁」)

開催国・地域：台中・斗六・嘉義/台湾

期間：11月23日～12月15日

成績：①日本JABA選抜 ②NPB紅選抜 ③味全ドラゴンズ ④台湾プロ選抜

⑤NPB白選抜 ⑥韓国プロ選抜

※予選ラウンドは8勝4敗3分で2位通過。決勝ではNPB紅に4-2で勝利し、初優勝を飾った。

※アジアウインターベースボールへの派遣は、第29回アジア野球選手権の日程と重複したため一旦見送ったが、アジア野球選手権の日程が10月に変更となったことから、派遣が可能となり、事業計画への追加が承認された。

(4月25日：第1回定時理事会議決)

また、BFJの選手強化事業となり、JOCの補助事業としても認められ、BFJに対し一部費用を負担、JOCの補助対象外経費についても事業費として計上した。

#### (2) 公益目的事業Ⅱ 普及振興事業

##### ア. 指導者育成事業

###### 第44回指導者研修会

前項ケ.に記載の指導者育成事業に記載のとおり。費用については、公益目的事業Ⅰと公益目的事業Ⅱに按分計上した。

##### イ. 審判員育成事業

###### ①第62回全国審判講習会

前項コ.①に記載の審判員育成事業に記載のとおり。費用については、公益目的事業Ⅰと公益目的事業Ⅱに按分計上した。

###### ②各審判員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

前項コ.②に記載の各地区・都道府県審判員育成事業に記載のとおり。費用については、公益目的事業Ⅰと公益目的事業Ⅱに按分計上した。

##### ウ. 公式記録員育成事業

各公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体等が実施する公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。(加盟地方団体普及振興事業)

##### エ. コンディショニングスタッフ研修事業

実施せず。

##### オ. 中学硬式野球協議会事業

###### ①第13回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)の開催

8月12日～17日、東京ドーム他で開催された本大会では、各少年野球団体から32チームが参加し、「世田谷西リトルシニア」が優勝した。



②各加盟団体等主催指導者講習会に対する一部事業費の負担及び講師の派遣  
各加盟団体が実施する指導者講習会に対し、以下の講義について動画を制作し、各会場に配信した。

- 【1】中学生期におきる傷害と対応 日本野球連盟競技力向上委員 可知 芳則
- 【2】中学生のためのトレーニング 日本製鉄鹿島野球部トレーナー 飯田 純一郎
- 【3】講演「指導者に求められるもの」 スポーツライター 小林 信也
- 【4】少年野球とスポーツマンシップ 日本スポーツマンシップ協会 理事 森本 美行

以下の会場で実施した。

	地域	期日	会場	参加団体	参加者数
1	関東	12月7日	駒ドーム 研修センター	ヤング リトルシニア	300
2	静岡	12月15日	グランシップ静岡	静岡県野球協議会 リトルシニア・ボーイズ・ヤング・中体連	120
3	中日本	12月15日	小牧勤労センター	ヤング・ボーイズ	400
4	関西	1月26日	堺市美原文化会館	ヤング・ボーイズ・ リトルシニア	400
5	関西 (ヤング)	1月26日	丹波市立春日文化会館	ヤング	200
6	広島	3月1日	約10名グループで自習方式 で開催（新型コロナ対策）	ヤング・ボーイズ・ リトルシニア	200

カ. 女子野球普及振興事業を実施  
全日本女子野球連盟からの要請に応じて事業に対する支援を行った。

キ. 野球教室、ティーボール教室

①都市対抗開催期間中の7月25日に東京ドームにおいて開催。参加者は地元文京区を中心に東京都内から親子約1500名。また、日本選手権開催中の11月4日には京セラドーム大阪で開催、主に大阪市内から親子約700名が参加した。指導には、日本ティーボール協会並びに女子プロ野球選手らの協力を得た。

②野球競技普及振興事業

JABA加盟団体等が実施する野球振興事業に対し「野球競技普及振興助成金」として一部事業費を負担した。

- ・全国一斉ティーボール教室 231件・・・(別紙1-2「12~13頁」)
- ・ティーボール教室・野球教室 34件・・・(別紙1-2「14頁」)

ク. 東日本大震災野球復興事業・・・(別紙1-2「15頁」)

東北地区連盟との協議により、東日本大震災被災地域における以下の普及振興事業を行った。  
期間は8月9日から11日。

- ・交流試合 被災地高校と他地区高校の試合、社会人・大学の交流試合
- ・野球教室・交流会 社会人・大学のチームから地元少年野球チームへの指導・交流
- ・指導者交流会 地元チーム指導者と社会人・大学・他地区高校指導者の交流会
- ・シンポジウム(震災学習:被災者による体験談)
- ・ティーボール教室

ケ. 競技力向上事業

①国際事業の日本開催

- ・第29回世界少年野球大会 福島大会

世界14カ国・地域から約120名の子供たちが参加、9日間に渡り野球教室や各種交流イベントが行われた。(世界少年野球推進財団との共催)JABAから3名のコーチを派遣した。

期 間：7月30日～8月7日

場 所：福島県福島市

②全日本野球協会の選手強化本部事業に対する協力

- ・第5回WBSC U12ワールドカップ・・・(別紙1-2「16頁」)

中学硬式野球協議会参加団体から役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：7月26日～8月4日

場 所：台湾・台南

成 績：①チャイニーズ・タイペイ ②日本 ③キューバ ④韓国 ⑤メキシコ  
⑥ベネズエラ ⑦アメリカ ⑧チェコ ⑨イタリア ⑩オーストラリア  
⑪南アフリカ ⑫フィジー

- ・第10回BFA U15アジア選手権・・・(別紙1-2「17頁」)

日本中学生野球連盟より役員と選手を選出し派遣した。

期 間：8月19日～25日

場 所：中国・広東省

成 績：①日本 ②チャイニーズ・タイペイ ③韓国 ④中国 ⑤フィリピン ⑥パキスタン  
⑦インドネシア ⑧香港

- ・第2回BFA女子野球アジアカップ・・・(別紙1-2「18頁」)

全日本女子野球連盟より、役員と選手を選出し派遣した。

期 間：11月9日～15日

場 所：中国・広東省

成 績：①日本 ②チャイニーズ・タイペイ ③フィリピン ④中国 ⑤韓国 ⑥香港  
⑦インド ⑧パキスタン

- ・U15アジアチャレンジマッチ2019・・・(別紙1-2「19頁」)

中学硬式野球協議会参加団体から役員並びに選手を選出し派遣した。

期 間：11月22日(金)～24日(日)

開催地：松山市(愛媛県)

成 績：①日本 ②チャイニーズ・タイペイ ③松山市選抜 ④フィリピン

- ・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣した。

日本代表チームコーチ

各大会運営スタッフ(審判員、記録員等)

・その他

チームの海外派遣及び外国チームの招聘に関すること、並びに国際交流を通じて野球競技の国際的な普及・振興に寄与すること、アジア野球連盟加盟国をはじめ、諸外国からの協力要請がある場合については、全日本野球協会と連携を図り、チームの派遣・招待、指導者や審判員、記録員、選手等の派遣等の各種活動に協力した。また、国際野球ソフトボール連盟、アジア野球連盟及び日本オリンピック委員会、日本アンチドーピング機構等の事業については、全日本野球協会を通じて協力した。

- ③各加盟団体等が行う競技力向上事業に対する支援（加盟全国団体国際大会出場補助費）  
各加盟団体が実施する競技力向上事業（選抜チームの海外派遣含む）に対し、申請に基づき一部事業費の負担、講師の派遣等を実施した。

コ、展示による普及活動

野球殿堂博物館の維持会員として運営協力を行った。

サ、その他

①野球規則の制定に関する協議

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議を行った。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画した。

②野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議

社会人野球で使用できるバットについては、日本野球連盟（社会人野球）内規に定めている。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画した。製品安全協会に委員を派遣し、野球競技の用器具に関する協議に参画した。

③アオダモ資源育成の会に対する協力

選手が使用する木製バットの資源育成のため「アオダモ資源育成の会」の事業に協力した。

(3) 公益目的事業Ⅲ 野球情報提供事業

ア、2019年度版日本野球連盟報の発行、配付

2019年度における当連盟の事業や野球に関わる事項等をまとめて発行した。

制作部数は2, 200部、配付先は当連盟内外の関係先、希望者に対する販売も行った。

イ、月刊会報誌「JABAニュース」を年12回発行、JABAクラブ会員あて配付した。

※t o t o助成金の対象事業である。

※事業実施に際して、大会運営に関わる事業内容の情報提供と普及振興に関わる事業内容の情報提供を含んでおり、事業費については公益事業Ⅰ（都市対抗野球等、野球大会の開催と運営）にも按分して計上する。

(4) 収益事業

ア、大会グッズ等の販売

都市対抗野球大会、社会人野球日本選手権大会、全日本クラブ野球選手権大会におけるグッズやプログラム等の販売を行った。

また、本年度よりJABAカレンダーを作成し、毎日プレミアムモールで販売を行った。

イ、野球関連の書籍の販売

社会人野球ガイドブック「グラウンドスラム誌」の販売を行った。

(5) その他(諸規程に基づく承認事項等)

ア. 2019年度JABA公式大会の承認

- ・各地区連盟及び各加盟地方団体から届出のあった2019年度各JABA大会については別紙のとおり承認した。
- ・日本野球機構を通じて調整した結果、新潟大会には読売ジャイアンツ(ファーム)、広島大会には広島カープ(ファーム)が出場した。
- ・四国アイランドリーグPlusと協議した結果、四国大会に香川オーリーブガイナーズが出場した。

イ. 野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関すること

2019年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社から申請があったボールとした。  
イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックスジャパン、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホームマー

ウ. NPBプロ球団との交流試合

「2019年プロ・社会人交流試合の申し合わせ事項」に則り実施した。

エ. 国内独立リーグとの交流試合

国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施した。

オ. 募金

第9回回都市対抗野球大会にてアオダモ募金活動を実施し、「アオダモ資金育成の会」へ寄付をした(募金金額414,337円)。

カ. 2019年度加盟チームの推移・・・(別紙1-2「20頁」)

キ. 2019年度加盟チーム数及び登録者数・・・(別紙1-2「21~22頁」)

ク. 2019年度加盟チームの変更事項・・・(別紙1-2「23頁」)

ケ. 2019年度一般賛助会員数(JABAクラブ)・・・(別紙1-2「24頁」)

コ. 2019年度会議開催状況

①評議員会

第1回定時評議員会	5月17日	東京ドームホテル
-----------	-------	----------

②理事会

第1回定時理事会	4月23日	ジャパンベースボールセンター会議室
第1回臨時理事会	5月17日	東京ドームホテル
第2回臨時理事会	7月12日	ジャパンベースボールセンター会議室
理事会みなし決議	8月7日	書面によるみなし決議
第3回臨時理事会	10月27日	京セラドーム大阪
第4回臨時理事会	12月11日	KKRホテル東京
第2回定時理事会	2月18日	ジャパンベースボールセンター会議室

③業務執行会議

第1回業務執行会議	4月11日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回業務執行会議	7月2日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回業務執行会議	10月10日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回業務執行会議	12月3日	ジャパンベースボールセンター会議室
第5回業務執行会議	2月4日	ジャパンベースボールセンター会議室

④各委員会

【事業統轄委員会】

第1回事業統轄委員会	3月28日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回事業統轄委員会	6月14日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回事業統轄委員会	9月19日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回事業統轄委員会	1月23日	ジャパンベースボールセンター会議室

【競技力向上委員会】

第1回競技力向上委員会	7月14日	東京ドーム
第2回競技力向上委員会	10月26日	京セラドーム大阪
第3回競技力向上委員会	1月11日	ジャパンベースボールセンター会議室
第4回競技力向上委員会	2月20日	ジャパンベースボールセンター会議室

【規則・審判委員会】

第1回規則・審判委員会	5月13日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回規則・審判委員会	11月21日	ジャパンベースボールセンター会議室

【競技力向上、規則・審判 合同会議】

第1回	4月18日	ジャパンベースボールセンター会議室
-----	-------	-------------------

【公式記録部会】

第1回公式記録部会	3月19日	ジャパンベースボールセンター会議室
-----------	-------	-------------------

【コンプライアンス委員会】

第1回コンプライアンス委員会	11月15日	ジャパンベースボールセンター会議室
----------------	--------	-------------------

【クラブ野球活性化委員会】

第1回クラブ野球活性化委員会	3月28日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回クラブ野球活性化委員会	7月15日	東京ドーム
第3回クラブ野球活性化委員会	1月23日	ジャパンベースボールセンター会議室

⑤日本野球振興世話人会全体会議 5月30日 サピアタワー会議室

⑥第1回将来構想プロジェクト	4月18日	ジャパンベースボールセンター会議室
第2回将来構想プロジェクト	9月25日	ジャパンベースボールセンター会議室
第3回将来構想プロジェクト	11月8日	ジャパンベースボールセンター会議室

サ. 2019年度 慶弔及び事務局人事

①表彰

第90回都市対抗野球大会で優勝した「千葉市・JFE東日本」に以下の賞が贈られた。  
・日本ユネスコ協会連盟賞  
・日本スポーツ賞・競技団体別優秀賞

②逝去

2019年 3月30日 山下 登 (日本野球連盟 元評議員)  
2019年 7月29日 本山 照夫 (日本野球連盟 元評議員)

③事務局人事

広報課長 清水大輔 (事業課主任)

以上